

本行械工支部の名の下に、進取労働者以外の中小工場に於ける行械工を組織
東山、山陽、川中、神奈、其々の筆談を通じて果敢な闘争を展開し、作
春に神奈川労働組合と改称して矢張り組織を完備し或は新行械工
姉妹工場たるエヤーブレと筆談(第一次の)其々の効果的に勝利して今日その内
尚発展の途を大どりのある。

然るに之等金屋産業に於ける資本の攻撃は最近頗る反動化し、そのた
は益々激烈化せんとしつつあり、吾々が多年の愚業たる、戦線統一産
業別整理を為す(べき)必要は刻々迫り来たつたのである。

そこで吾々は、愈々この行械工のその要望を實踐化すべく、兵庫県聯合
本部常任委員会に於て具体案を協談の結果、茲に前記両組合を合併
し、新に神奈川労働組合の名の下に、全神奈川労働者の大同団結を
計ることを決定した。

附屬法人協同會大阪支所

第 2888 號

昭和九年十二月一日

大阪支所長 橋本 能 利

常務理事 大 島 辰 次 郎 殿

日本労働總聯合
大阪電球労働組合昭和九年度大曾ノ件

19.12.4

5007